



ながす議会だより

No.159

潮ぞい



今年から「スポーツフェスタ」で
和気あいあい！

令和6年第3回定例会

令和5年度決算審査等

一般質問 8人が登壇し町政を問う

委員会活動

町民のひろば

(2)～(7)

(8)～(16)

(17)

(18)



長洲町議会ホームページ
過去の議会だよりや会議録を
ご覧いただけます。

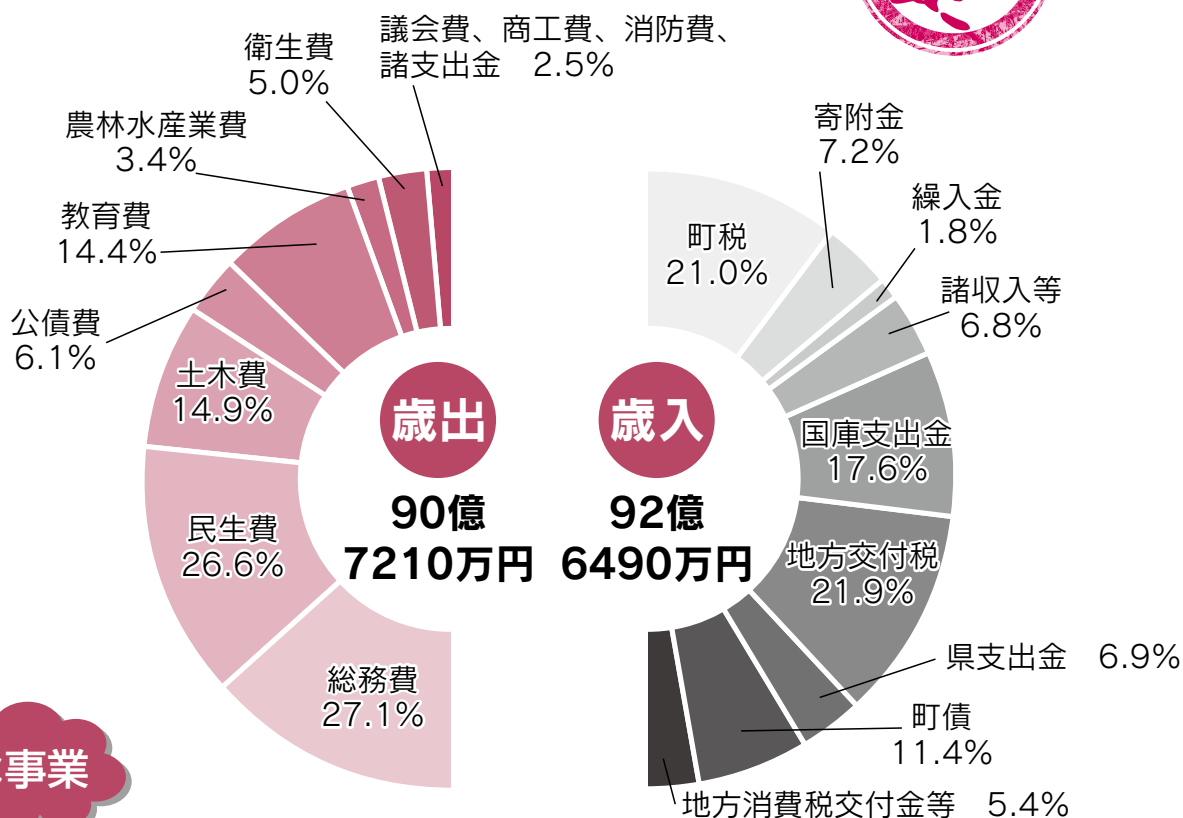
第3回定例会
9月9日～13日
(5日間)

町長から提案された決算認定6件、補正予算4件、規約・条例の一部改正4件、議員提案1件、その他2件を慎重に審議し、すべて原案どおり可決した。また、一般質問は8名が行い、さまざまな角度から町の姿勢をただした。

持続可能な行財政運営はできたのか

中学校統合へ重点配分

令和5年度一般会計決算



主な事業

通学路安全対策・道路新設改良

2億3989万円

中学校の統合に向けた通学路、赤田・上沖洲線等整備が行われた。



子ども医療費助成

7426万円

18歳以下の子どもまで医療費の無償化が拡充された。



地域公共交通の活性化

2626万円

きんぎょタクシーが主に高齢者の移動手段として定着し、利用者が増加した。



公共施設の適正管理

1億2063万円

役場庁舎の空調施設等の更新・トイレ改修が行われた。



一般会計・特別会計・企業会計の決算収支

金額は端数処理のため合わない場合あり。△はマイナス

会計名	歳入	歳出	翌年度への繰越すべき財源	実質収支額(差引額)	前年度実質収支額	単年度収支額
一般会計	92億6490万円	90億7210万円	1158万円	1億8122万円	1億7801万円	321万円
国民健康保険	21億6172万円	21億5635万円	0円	537万円	980万円	△443万円
介護保険	17億9013万円	17億2706万円	0円	6307万円	9151万円	△2844万円
後期高齢者医療	2億5648万円	2億5558万円	0円	91万円	58万円	32万円

企業会計名	収入	支出	収支の差額
水道事業	収益的収支 2億5917万円	2億3499万円	2418万円
	資本的収支 559万円	1億5257万円	△1億4697万円
下水道事業	収益的収支 8億5082万円	7億8436万円	6646万円
	資本的収支 4億2972万円	6億4806万円	△2億1832万円

健全化判断比率

長洲町は早期健全化基準を下回っており、健全である。

項目	内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計の赤字	—	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	特別会計を含めての赤字	—	—	—	20.0%
実質公債費比率	実質的な借金の返済額の割合	6.9%	6.6%	6.4%	25.0%
将来負担比率	将来の負担割合	29.3%	35.6%	44.2%	350.0%

決算認定

主な質疑



一般会計

歳入

問 (竹本議員)

町民税法人分が前年度より2347万円減となった要因は。

答 (税務課長)

法人税の還付や、法人数の減少等による影響である。

問 (磯野議員)

町民税が当初予算より増加した要因は。

答 (税務課長)

納税者数は減少傾向だが、一人当たりの納税額が増えており、所得の増加が考えられる。

歳出

問 (田成議員)

男性の育児休業取得推進奨励金の、令和5年度の取得率と、取得率向上に向けた取組は。

答 (子育て支援課長)

令和5年度の取得率は約26%である。前年度が約27%で、企業へのチラシ配布やLINEでの周知、母子手帳を交付する時等に制度の案内を行っている。

問 (前田議員)

デジタル環境維持管理事業の効果は。

答 (まちづくり課長)

社会福祉協議会が行っている健康体操の配信、地域活動では高齢者のUD eスポーツ等、徐々にデジタル環境を利用した活動が広まってきている。



誰でも楽しめるUD (ユーディー) eスポーツ

問 (林議員)

健康づくり推進事業費で、子宮がん検診の受診者が令和4年度より59名減少した理由は。

答 (福祉保健介護課長)

国は2年に1回の子宮がん検診受診を推奨している。令和5年度は受診対象者が約4千人で、前年度より97名減少したことが考えられる。



問 (荒木議員)

新型コロナウイルスワクチン接種委託料の不用額が4300万円となった主な要因は。

答 (福祉保健介護課長)

令和5年度に対応した全額公費の接種委託料であったが、法改正等で努力義務から外れた年代層があり、規模や対象者が縮小した。

問 (竹本議員)

ふるさと納税に伴う支出総額は。また、寄附金の返礼品を送付した人数は。

答 (まちづくり課長)

支出総額は3億5900万円で、7万人以上に送付した。また、寄附額は6億4790万円で、差額は約2億9000万円である。



問 (磯野議員)

教育委員の視察研修の予算は4名分だったが、支出済額は半分以上である。参加者は何名か。

答 (学校教育課長)

1名である。文部科学省や他団体が開催する会議・研修だが、委員の日程調整ができなかった。

国保医療特別会計

問 (林議員)

診療報酬明細書等業務委託料の成果として、約180万円の効果があったとあるが、どのように判断したのか。

答 (福祉保健介護課長)

レセプト点検業務を約148万円で委託したことにより、再審査したレセプトを国保連合会に提出し、町への医療費の請求を328万円減らすことができたため、その差額を効果額とした。

後期高齢者医療特別会計

問 (林議員)

滞納額が令和4年度、令和5年度と高止まり状態の原因は。

答 (福祉保健介護課長)

団塊の世代が後期高齢者医療制度の被保険者に移行したが、他の税金の滞納分の納付を優先させたため、滞納額が減少しない結果となった。

請願

建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書提出を願う請願書

アスベストによる健康被害の治療のための研究開発、被害者の救済措置の拡充等のための予算を確保すること等を求める請願が提出された。

【紹介議員】林 敏哉

総務保健福祉常任委員会に付託され、3回の審査を経て全会一致で採択すべきものと決定した。

本会議での委員長報告が全会一致で採択され、国に意見書を提出した。

【提出先】衆参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、内閣官房長官

意見書の全文はホームページに記載。こちらのQRコードをスマートフォンで読み取ると、見ることができます。



陳情

現行の健康保険証の存続を
求める意見書提出の陳情

総務保健福祉常任委員会に付託
され、3回の審査を経て全会一致
で不採択すべきものと決定し、本
会議において不採択。

討 論

採択すべき

(林議員)

マイナ保険証は医療へのアクセ
スを困難にし、国民皆保険制度の
根幹を揺るがすものであり、現段
階での一本化は時期尚早である。

(濱崎議員)

マイナ保険証はトラブルも多く、
医療機関にとって阻害要因でしか
ない。

不採択とすべき

(田成議員)

お薬手帳や限度額適用認定証の
機能等の利点がある。現行の健康
保険証の機能を持つ資格確認書が
発行される等の配慮もある。

規約

熊本県後期高齢者医療
広域連合規約の変更

現行の被保険者証(健康保険
証)の新規発行が終了するため。

条例

地方自治法の一部を改正
する法律の施行に伴う関
係条例の整理に関する条
例

法改正により、条例の引用条番
号の改正を一括して行う。



行政手続のデジタル化が進んでいる

印鑑の登録及び証明に関
する条例、手数料条例

(1)長洲町印鑑の登録及び証明に関
する条例

●コンビニ交付導入に伴い、印鑑
登録証明書の交付申請を行うこと
ができる規定の整備。

●窓口で印鑑登録証明書を取得す
る際、個人番号カードを提示する
ことにより交付申請を行うことが
できる規定の整備。

(2)長洲町手数料条例

●町民カードの交付手数料に係る
規定の削除。

長洲町国民健康保険条例

●被保険者証(健康保険証)の新
規発行が終了するため、返還に係
る規定の削除。

その他

農業水路等長寿命化・防
災減災事業(町営土地改
良事業)の実施に伴う経
費の賦課基準並びに徴収
の時期及び方法について

農業水路等の水利施設更新費用
の一部を、受益者に負担してもら
うもの。

●賦課金総額 206万円

●徴収時期

令和7年3月31日まで

●徴収方法 一括徴収

工事請負契約

宮崎川護岸改修工事

●契約金額 7733万円

●契約の相手方

興亜建設工業株式会社

寄り添う支援、地域に支援！

令和6年度一般会計補正予算

1億2641万円追加

農業振興

農業水路等長寿命化・
防災減災事業
1466万円

下記のポンプ更新し、
機能の安定を図る。

- 折地地区
- 梅田1地区
- 梅田2地区

伝統文化

邦楽演奏公演事業
80万円

吉田晴風没後75年にあ
たって邦楽演奏者を招
き、郷土の歴史や邦楽
の興味を高める。



QOL向上

がん患者アピアランス
支援事業
20万円

補正具等の費用の助成

若年がん患者在宅療養
生活支援事業
12万円

必要なサービスの助成

子育て支援

児童手当事業
3727万円

児童手当の制度改正に
より、子育て世代へ支
援が拡充した。



一般会計補正予算

主な質疑



問 (前田議員)
定額減税減収補填特例交付金
の追加153万7千円理由は、

答 (総務課長)
国が定める定額減税の算定の
補正率が増加したため。

問 (林議員)
改正により、児童手当の給付
対象者数が1997名とあるが、
内訳は。

答 (子育て支援課長)
所得制限の撤廃で41名、高校
生年代までの延長で337名、第
3子以降の算定対象者が22歳まで
の延長で373名が増加し、継続
の対象者が1246名である。

問 (磯野議員)
特定寄附金80万円は、寄附者
が何か用途を希望しているのか。

答 (生涯学習課長)
本町での邦楽演奏会の開催を
希望している。

問 (濱崎議員)
浦川16号ポンプは、東側に導
水路があるため、揚水ポンプの更
新工事は不要ではないか。

答 (農林水産課長)
このポンプは10ヘクタールの
用地の用水を賄っており、更新の
要望が地元から上がっている。

特別会計等補正予算

下水道事業会計

主な内容

- ① 仮設ポンプの点検手数料及びテレビカメラ調査委託料
254万円の追加
- ② 上沖洲区汚水枝管の管路改築工事、マンホールポンプ
場の制御通報装置等取替工事費
3390万円の追加

問 (林議員) 被保険者への通知の郵送は、保険証とマイナンバーカードの一体化を急ぐためのものか、マイナンバーの数字の確認のためのものか。

答 (福祉保健介護課長) 12月2日で保険証の新規発行が終了するため、被保険者のマイナンバーカードの番号と情報を再確認するものである。

介護保険特別会計

補正額 1342万円追加
主な内容 決算に伴う繰越金

国民健康保険特別会計

補正額 107万円追加
主な内容 マイナンバーと健康保険証の一体化に向けて全被保険者への通知郵送

討 論

一般会計決算認定

反対

将来を見定めた町づくりを

(林議員)

がん検診の受診率向上と、長洲港湾整備事業の本町の負担率軽減が必要。少子高齢化社会の到来を見据え、事業の取捨選択には無駄なコストをなくし、「安心して住み続けられる町づくり」を目指して欲しい。

賛成

限られた財源で住民ニーズを満たしている

(松井議員)

実質収支は伸び、ふるさと納税が増加した。補助金を活用し、中学校校舎、清里小体育館、赤田・上沖洲線の工事を実施することができおり、評価する。

後期高齢者医療特別会計決算認定

反対

抜本的な制度の見直しを

(林議員)

年金支給額が減額される中、限られた年金から支出する保険料や医療費の支払いが増え続け、高齢者の暮らしを直撃している。

75歳以上の高齢者を一つの制度にまとめ、高齢者人口が増えるたびに、加入者の負担を増加させる仕組みがもたらす弊害は重大である。

健康や命を脅かし高齢者を追い詰めるこの制度は、抜本的な制度の見直しが必要である。

賛成

適正に運営している

(福田議員)

団塊の世代が後期高齢者医療に移行し、医療費や保険料が増加しているが、安心して医療を受けられるよう適正な事業運営、事務ができている。

審議結果 <全議案可決>

○…賛成 ×…反対

議案番号	事 件 名	田成	前田	林	荒木	福田	竹本	福本	磯野	浦邊	徳永	濱村	松井	濱崎	福永
認定第1号	令和5年度長洲町一般会計決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	令和5年度長洲町後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

* この審議結果は賛否が分かれたもののみを掲載しています。

* 議長は表決に加わりません。